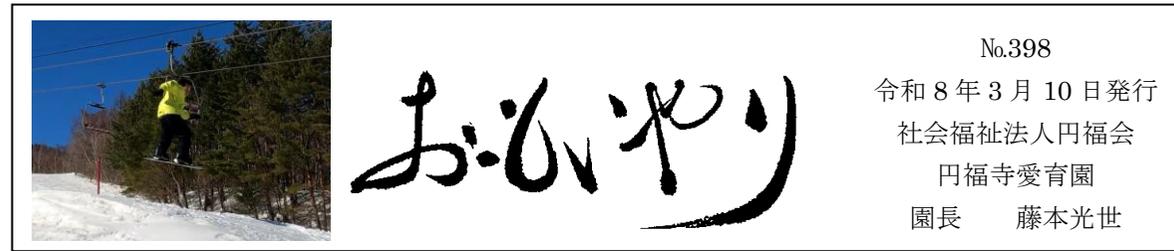


ボード初シーズン。ジャンプする小4A君 かっこういいなあ



## 教育的児童養護施設

園長 藤本光世

父が、創立 50 周年記念誌「大きな家族」に、これからの児童養護施設は教育的児童養護施設にならないと書いています。(51p)

「教育的」あるいは「教育」とは何でしょうか。

学校の時間割のように、国語算数理科社会を教える事でしょうか。

そうではありません。

これはやっちゃダメ、あれはやっちゃダメ、悪いことをしたらダメ、悪いことをしたら反省させることなど、行動の枠を決めて、しつける事でしょうか。

そうではありません。

昔、満州引揚孤児で愛育園に措置された方が、小学校の作文に「こんなに良くしこまれたら、悪い人間になるはずがない」と書いていましたが、もちろん人に仕込むことではありません。

それなら「教育」とはどんなことなのでしょう。

それは、自分から自分を拓き、立派な人になるように努力できる人に育てることなのでしょう。しかもそれを意識してそうなるのではなくて、無意識で努力できる人間に育てる事なのでしょう。

それが人の幸せと思いませんか。

お釈迦さまが「自らをよりどころして、他人をよりどころとしてはいけない。法をよりどころとして生きよ」と諭されているのはこのことなのでしょう。

教育の本質を、本当の教育をほとんどの人は理解していないなあ。

ぜひとも、児童相談所の皆さんは理解してほしいと思います。子どもを幸せにするとは、このことであることを。このことが分かっていなくて、このことを事実として示していないから、親(保護者)と衝突してしまうのではないかなあ。その根本に愛育園の養育を理解できないことがあるように思えて仕方がありません。

それなら、自分から進んで自分を拓き、立派な人になるように日々努力する人間に育てるにはどうしたらいいのでしょうか。そうしなさいと言って聞かせたり、強制したのではできないのです。

このことはまさに「仏さまの指」なのです。子どもは、自分で自分を善くしようとして、自分で立派になっていくのですから。

昨シーズンにスキーとボードとウェアを買ってやって、今シーズンは子どもたちがボードに夢中になりました。その上達ぶりはすごいです。どんなに凄いかは、当園のホームページに動画を掲載しましたので、ぜひご覧になってください。

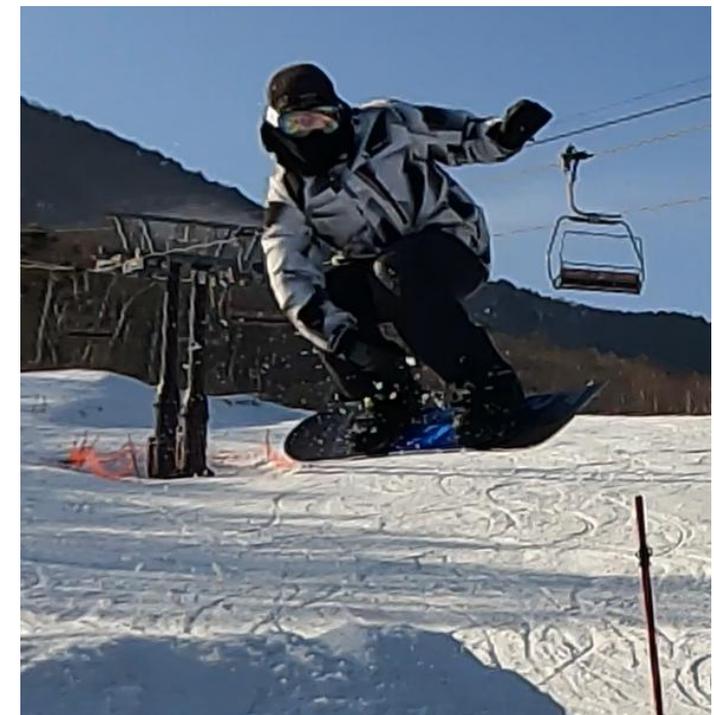
たった 2 シーズンです。小さな子は今シーズン初めてボードをはいてすごく上達しました。これは、本当に凄いことです。

子どもたちは、自分から、勝手に上達しようと努力して、しかもとっても上手になったのです。それを見て、他の子どもも努力するのです。しかもですよ、この動画は子どもが編集してくれたのです。(編集してくれた子がどんな子か、きっと誰もが信じないと思います)

これも、たいへんなことと思います。私は動画の編集はできません。この子は私を超えています。「教育」とは、このようなことなのでしょう。

自分から勝手に動き出すように仕組むこと、その姿を見て子どもが喜び、職員が喜ぶこと…これが喜ばない職員は、職員ではないなあ…、子どもの姿に職員がワクワクすること、子どもをもっと連れて行ってやりたいと願うこと、それが教育的児童養護施設なのです。

子どもたちの感想を読んでください。あおぞらホーム長の文を読んでください。ここに「教育的児童養護施設」の鍵があります。



## あおぞらスノーボード成長記

主任指導員 T.M

昨年から冬季期間中の休日(土・日)活動として、飯綱リゾートスキー場にスノーボードやスキーに行っています。私たちは「外で体を使って思い切り遊んで発散させる事」をとても大切にしています。今年もこのスノーボードの活動を通して子ども達の素晴らしい姿が見られています。

もともとはさかのぼる事 2 年前、冬の間の活動としてスノーボードをやらせてあげたいという思いから、閉業した飯綱スキー場の跡地が無料開放されている事を調べてくれた先生がいて、そこから職員の私物のスノーボードを持ち寄って子ども達を遊びに連れ出していました。もちろんリフトは動いていないので自力で坂を上り、ボードの板も 3 枚くらいしかないので一回滑るごとに

ブーツから履きまわして順番に滑っていました。それでもワイワイ楽しんで滑っていたのですが、そんな様子を知った園長先生が子ども達の為にスキー・スノーボードの板を購入して下さり、昨年にはウェアまで購入して下さった上に、飯綱リゾートスキー場にかけて格安でリフト券を購入できるように取り計らって下さったのでした。そうはいってもと遠慮がちにスキー場に行かせて頂いていたなら、園長先生が「いやいや、もっとじゃんじゃん連れてってあげて～」と言って下さり、昨年度は10回以上はスキー場にいかせて頂きました。そして、今年度はシーズン開始の12月から遠慮なくほぼ毎週末スキー場に行っています。

昨年から子ども達はスノーボードの面白さに夢中になって練習し本当にみんな上手になりました。そして今年は昨年に増してもものすごくレベルアップして大きな成長を感じられています。みんな、ただ滑るのではなく、ジャンプして回転したり、カービングというエッジを立てた滑り方をしたり、板のしなりを利用

してクルクル回ったり、もうほんとに上手くなりすぎてびっくりします。本当にのめり込んで練習している顔つきを見るとよっぽど楽しくて仕方ないのだろうなあとと思います。ここからは、そんな子ども達の様子をさらに詳しくお伝えしていきたいと思います。



まずは小4のA君。今年一番すごかった子です。初めてボードに挑戦したのですが、当たり前ですが最初は全然滑れずにいて、性格的にもとても怖がりな子だったので、ちょっと厳しいかな？と思っていたら、転んでも転んでも何事もなかったように起き上がって黙々と練習をしていました。そして3回目くらいには普通に滑れるようになっていて、なんとというかその滑り姿がとてもカッコ良く見ていてワクワクしました。そしてそして次に私が気づいた時にはもうジャンプして回転して、またジャンプして回転してと、連続で技を繰り返していました。信じられません。今年初めて挑戦してもうこんな事が出来てしまうなんて凄すぎです。A君はあまり感情が表に出さない子なのですが、このスノーボードの時は本当に表情が豊かで、私がとてもいい顔だなあとと思ったのが、A君が回転ジャンプの着地に失敗して尻もちをついた時の顔です。目を大きく開いて、口元は少し笑っていて、ちょっと驚いたような好奇心と向上心に満ちた顔です。「悔しい、でもも

うちよっところやれば上手くいきそう、わあ楽しいなー」そんな顔に見えました。もちろん運動センスという事もあるのですが、熱中するからこそここまで上達するんだなあとA君の自信がついた顔を見てとても成長を感じました。また、心根の優しいA君でしたが、この頃少し反抗期のように言葉や態度が荒れていました。しかし、スノーボードにのめり込んでいくうち反抗する暇もなくなったのか、あつという間にいつもの優しいA君に戻ってしまいました。熱中できるものがあるって本当に素晴らしいです。

続いて小6のY君。Y君は周りが「スノーボード楽しい！楽しい！」と騒いでいる時に、頑なにボードをやらず、ずーっとスキーをやっていました。スキーの方が得意という事もありましたが、Y君はプライドが高く何でも自分が一番じゃないと気が済まない性格なので、小4のA君を初め周りが続々とスノーボードの上達をしてしまった中、今さら「スノーボードをやってみる」とは絶対に言い出せない子でした。と、思っていたら、言い出しました。私はY君の性格を知っているし自分でその気にならないなら無理強いしても仕方ないと思っていた所、今シーズン12回くらい滑りに行った頃でしょうか、2月28日に「今日は俺、スノーボードをやってみる！」と来たのです。びっくりしましたが、せっかく言い出しているのでも「頑張る」と声をかけ様子を見てみると、やはり全然滑れず転んでばかりいて周りから見れば格好悪い姿でした。Y君からしたら耐え難い状況なのではないかといった様子でしたが、Y君は全然投げ出そうとしません。変に言い訳をしたりする事もしません。愚直に滑って転んでを繰り返していました。よくよく顔つきを見てみると、もう周りがどうか、プライドがどうかそんな事は気にしておらず、目の前のスノーボードの事に全集中していて、まさにのめり込んでいる様子がありました。久しぶりにひたむきに物事に取り組むY君の姿を見て本当にうれしく思いました。そして同時に、集団でお互いに刺激を与えあうからこそ、こういったY君の「やってみる」が生まれたり、中高生のやっている技を貪欲にまねするA君の姿が生まれるんだと感じました。

他にも紹介したいエピソードが沢山あるのですが、あまりにも長くなってしまうのでこのへんしておきますが、この後にA君のスノーボードの感想文を載せていますので是非ご覧になってください。張り切って作文帳6ページも書いてくれました。

スノーボードの経験を通して本当に子ども達の成長を感じることができています。今シーズンはまだ残り数回スキー場に行けそうです。まだまだ子ども達の成長を喜びたいと思います。

#### 飯綱リゾートスキー 児童作文

小4 A.A

今年のスキー行事では、スキーではなくスノーボードですべりました。スキー行事に行く前におぞらホームで何回も飯綱リゾートスキー場に行って、その時にスノーボードをやり始めました。最初は「このは」というすべり方ですべっていたけど、2回目の時は最後らへんでSの字のすべり方ができるようになりました。3回目行った時はトリックするほどまだうまくなかったので、まだSの字のすべり方ですべるだけでした。4回目行った時にヘリコプターという技をやりはじ



めました。半回転して逆向きですべるやり方もできるようになりました。5回目に行った時にはヘリコプターを進化させて半回転をやりながらゆったりする練習をしました。6回目もその練習をして、7回目はオリジナルの技などを作ったりして、その技を練習しました。8回目もその練習をしました。9回目もその練習をしました。10回目は新しい技が浮かんだのでそれを練習しました。それで、全体のスキー行事で戸隠スキー場に行きました。(中略)いろいろなコースをたくさんすべりました。今年初めてスノーボードでスキー行事をやったけど、やっぱりスノーボードの方が楽しいと思いました。

スキー行事の後も、まだまだ5回以上もス

キーに行きました。さらにオリジナルの技ができるようになりました。その技はカービングから半回転ちょいする技で今の自分の一番の大技です。

スキー場にいけるのも「後2回くらい」と先生が言っていたのもっとすごいトリックをやったりして最後まで楽しみたいです。

## スキー行事

あおぞらホーム Y.S

2月21日愛育園全体でスキー行事がありました。自分は毎年スキー行事の係のため色々準備を進めていました。

あおぞらではほぼ毎週スキー場へ行かせていただいています。それだけでも皆楽しい様子ですが、スキー行事はいつもとは違うゲレンデへ出かけるのでそれはそれでまたとても楽しみにしています。いつも行っている子はボードでトリックなど技ができるように練習してスキー行事でも存分に元気の良さを発揮していました。一年ぶりに来るゲレンデで滑ってみるととても楽しそうな様子がありました。あおぞらでは毎週滑りに行っていますがほぼ毎回同じメンバーです。そんな中、いつもは行かないK君が行事の何回か前のスキーから「今日は行こうかな」と言い参加し始めました。みんなとはペースが違って一人黙々とボードの練習をしていました、少しずつ上達してきてスキー行事を迎えました。上級者コースまでは難しくとも同じグループのみんなと普通に滑れるくらいにまで短期間で上達したのはすごいな、と試してみたいです。そしてK君はスキー行事以降のあおぞらのスキーにも毎回参加するようになりだんだんと上達しています、



K君自身も上手になっている実感があるようで本当によかったなと思っています。そして、スキー行事の時のK君の日記には「最初は得意

ではないからあまり実感がわかなかったけれど滑っているうちにだんだんと楽しくなってきた」と書いてありその言葉だけでも行事を計画してよかったなと思いました。また、ケガやトラブルもなく終了できたのも一人一人の日々の心がけのおかげだったな、と思い子どもたちに感謝です。

## スキー行事

まごころホーム長 I・S

2月21日にスキー行事がありました。本当に天気も良く遠くに見える山もとてもきれいに見え子どもたちも感激していました。まごころホームは3チームに分かれスキーを楽しみました。1

年ぶりのスキーなので上手に滑れるか心配している子ども達もいましたが、何本か滑っているとあっという間に上達していました。またチーム内でも転んでいる子がいたらみんなで止まって待っててくれたり、お互いに「大丈夫？」と声を掛け合い、おもしろい姿を見ることができました。今年まごころの子どもたちも途中で休憩することなく時間いっぱいスキーを楽しむことができ、充実した時間を過ごすことができました。



## あおぞら児童感想

- 冬の下旬、今年もスキー行事に行っていました。自分はスキーやスノーボードが得意な

方ではなかったため、あまり期待していませんでした。ですが、行ってみると何だかすごく楽しくなってしまう、気付けば夢中になるくらいやっていました。

自分はスキーよりスノーボードの方がまだ滑れます。ですが滑れるとはいえ、久しぶりに滑ったので、最初の方は何回か転んでしまい痛かったです。その後も何回か滑り、だんだん慣れてきたところで、お昼ご飯を食べました。

自分が選んだメニューはカレーライスです。意外とシンプルですが、ここで食べるカレーライスは本当においしくて、食べれてよかったです。午後は2.3回滑ったところで終わりました。自分はほとんど初級コースしか滑っていませんが、それも良いことだと思います。

(高1 F.K)

- 僕にとって今回は3回目のスキー行事でした。天気はとても晴れていました。雪質は上がパウダーで、下がアイスでした。転ぶたびにお尻が痛かったです。下がアイスなので、思い切りトリックができなかったです。けどとても楽しかったです。

こうして行けるのは当たり前ではないので、感謝して滑りました。あおぞらでは毎週飯綱リゾートに滑りに行かせてもらっています。園長先生とあおぞらの先生、毎週連れて行ってくださりありがとうございます。愛育園にいと、いろんな体験ができるので、本当に楽しいし嬉しいです。(高2 K.K)



#### スキー行事 まごころ児童感想

- 2月21日にスキーに行きました。今回の雪は、ジャリジャリしていて止まるのが大変で、1回転んだけれど後は転ばずに滑れてよかったです。1番上まで行ったら景色がきれいで写真を撮りました。中級の所を滑った時にオリンピックで滑っている人たちはすごいんだなと思いました。忍者の所もトンネルやでこぼこしていてとっても楽しかったです。上の方の雪は溶けていて滑りやすかったです。一番上から一番下に行くまでの道のりが一番楽しいコースでした。とっても楽しかったから、また行きたいです。K・R (小6)
- 今年はとっても晴れていてスキー日和でした。午前中は慣らすために初級コースで滑りました。1年ぶりだったけどけっこう滑ることができました。そして、午後は中級コースの頂上まで行きました。景色がとても良くて山がとてもきれいでした。人もたくさんいてぶつからないように気を付けながら滑りました。でも、けっこう滑れてとても楽しかったです。また、

私はスキーがすごく好きなので来年もまた行きたいです。そして、天気も良い中でまた思いっきり滑りたいです。M・H (中2)

- きょうはスキーぎょうじでした。わたしは、そりをやりました。たかいところからやりました。いったのはキッズパークでした。きゅうけいのはきは、あめをもらいました。またそりをしました。おひるごはんもたべました。そしたらまたそりを2じまでやりました。ようちえんのおともだちもいました。おきゃくさんもたくさんいました。とてもたのしかったです。バスでいきました。かえりもバスでかえりました。バスのなかでパンを食べました。あじはメロンあじです。おいしかったです。さいごにしやしんさつえいをしました。とてもたのしかったです。また行きたいです。S・H (小1)



#### 国際箸学会第10回箸技大会

主任指導員 T.M

2月7日、国際箸学会さんの主催する「第10回箸技大会」が埼玉県川口市で行われ、今年も園の児童みんなで参加させていただきました。

箸技大会では、小学生の部、一般の部、65歳以上の部と3つの部門に分かれているのですが、私たち愛育園は小学生と一般の2部門に参加し、箸ピー、箸リンのどちらの競技でも1位から3位まで全て独占させて頂きました。新しい競技の積ピーや駅伝ゲーム(団体戦)も優勝でした。実は第1回大会の参加から勝ち続けさせていただいているので、毎年毎年、表彰を独占してしまって、他の参加者さんのモチベーションに影響しないかなと心配になるのですが、国際箸学会の皆さんは、愛育園の子ども達が参加してくれるおかげで盛り上がり、毎年規模が大きくなってととてもありがたいと言ってくださいます。しかも、子ども達の見事な箸さばきを見ることを楽しみに参加されるファンまでついていると教えてくださり、それを聞いた子ども達も大変喜んでいました。

園の子たちは、箸技に相当の自信を持っているので勝つのは当然と思って臨んでいます。先月号に載せさせていただいた園内箸技大会でも書きましたが、取り組んできた年季が違いますので絶対の自信を持っています。しかし、不慣れな環境で実力を出し切れなかった子や人の多さや注目度で緊張から手が震えてしまった子がいたり、実力を出せずに終わってしまった子が何人かいたようです。

今年頭角を現してきた高1のK君は、園内大会でも好成績を残し、この箸技大会までの期間も練習を継続し、虎視眈々と優勝を狙っていました。しかし、いざ本番では、豆を床に落としてしま

い、なおかつ落ちた豆もうまく拾えず、まったく記録が振るいませんでした。K君の顔はみるみる強張り、唇も震えて、気が動転したように現実を受け入れられない様子になっていました。その後も立ち直ることができずに、控えの椅子にうなだれて、残りの競技はもう心ここにあらずで全く手につかずで、ずっと「こんなはずじゃなかったのに」とイライラしたような雰囲気を出していました。ハタから見るとあまり良い態度には映らなかったと思います。私も「記録が出なくても最後まで全力を出して、みんなを応援して、雰囲気を壊さないような姿があってほしいな」と残念に思う部分がありました。ですので、そんな事を一言かけようと思ったのですが、もともと気の優しいKくんがここまで尾を引き、悔しがれるのはK君にとって今後の大きな成長のきっかけになるような気がして、ほんとに一言だけ「最後まで頑張ろう」と声をかけました。K君は団体戦のメンバーにもなっていたので気持ちが切り替えられない様子なら選手交代をするつもりでしたが、自分を奮い立たせて「やります」と答えて頑張ってくれました。

箸技に限らず、思うようにいかない事はいくらでもあることです。そしてそれは自分自身でしか乗り越えられません。しかし箸技は特に顕著に表れます。勝てないには勝てない理由がはっきり表れます。特にメンタルが大きな鍵になります。K君は確かに練習を頑張っていました。生活面も日課やルールをしっかり守っています。しかしどこか普段の振る舞いに落ち着きなさや気の大きさの様なものを感じていました。いざという時にそういったほんのかすかな緩みが勝敗を分けるこの箸技という競技は本当に素晴らしい競技です。

K君は今回の結果や自分の振る舞いからどんな成長を遂げてくれるのでしょうか。そもそも一生懸命取り組める事や本気で悔しがれるK君もうそれだけで素晴らしいとも思うのですが、K君がもう

一歩自分の力で先に進むことができたなら、更にその先の将来の自立に大きく近づきます。

また、多くの方が子ども達の様子や記録を見て、驚き、褒めてくださることも子ども達にとって大きな自信になり、これもまた、将来への希望に繋がっていきます。

箸技という素晴らしい競技を教えてください、大会を開催して下さっている国際箸学会の皆様には本当に感謝しています。来年も再来年も、箸技を通じた交流を続けさせていただきたいと思っています。本当にありがとうございました。



## 国際箸学会第10回箸技大会

まごころホーム M・H

今年も埼玉県川口市にて、国際箸学会主催の箸技大会が行われました。今年の参加者も大勢いらっしゃり、中には、「愛育園のみんな、がんばってね。応援しているよ」とお声をかけてくださる方がいました。ここにも子どもたちを応援し、見守ってくださる方々がいるんだなと嬉しい気持ちになりました。

園内箸技大会が終わった後もさらに記録を伸ばそうと、練習を続けてきました。選手宣誓は、Mさんがやってくれました。たくさんの方が見ている中だったので、緊張したと思いますが、堂々と宣誓してくれ、成長を感じました。大会が始まり、いい雰囲気の中子どもたちは集中して取り組んでいました。団体戦では、先日の園内箸技大会でまごころホームはおぞらホームに負けてしまったので、今度は勝ちたいと意気込んでいました。見事に優勝でき、とても嬉しそうでした。会場全体で応援する様子は一体感がありました。

今年も参加させていただき、ありがとうございました。また来年に向けて練習を頑張っていきたいと思います。

## 国際箸学会第10回箸技大会 児童感想 あおぞら

埼玉県川口市に行きました。お昼はおいしいラーメンを食べました。バナナシェイクも飲みました。とても美味しかったです。箸リンや箸ピー、積みピーなどをやりました。予選ではいい記録を出せなかったけど楽しかったです。本選では、結構いい記録出せてよかったです。積みピー4個つめてよかったです。小学生の部で箸ピーと箸リンで1位を獲ることができてとてもうれしかったです。来年もたくさん練習して本選にいけるようがんばりたいです。園の生活や学校の生活もがんばりたいです。 小6 Yくん

2月7日に川口市で箸ピー大会がありました。僕はこの大会でキングまで登ろうと日々の練習を積み重ねてきました。大会が始まるまで、とても緊張しトイレを行き来していました。大会が始まり、僕はこれまでの練習をこの大会にぶつけてやろうとしましたが、実際にはキングまで行けず、しかも積みピーでも練習では、練習では7個つめていたのに本番では2個が限界でした。とても悔しくて気持ちが下がりました。こういった経験をして、次の大会では、みんなが驚く大会にしたいと思います。来年も楽しみです。 中3 Rくん

2月7日、川口市で箸技大会をしました。ぼくたちは1カ月前から練習をしたり愛育園で



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

箸技大会をしたりしていました。練習期間はとても集中して楽しく自分の目標に向かって記録をちょっとずつ伸ばしてきました。僕の最高記録は238です。園の中では少し低い方です。だけど団体戦に選ばれてとてもうれしかったです。だけどとても緊張して本番ではあまりいい結果になりませんでした。プレッシャーに弱い自分に気づきました。とても悔しいです。来年はいい結果にしたいです。 高2 Kくん

#### 国際箸学会第10回箸技大会 まごころ児童感想

きょうは、はしわざたいかいでした。さいたまけんにバスでいきました。おきやくさんがいっぱいいました。きろくは40こでくやしかったです。つかれたけど、らいねんもがんばりたいです。またやりたいです。 小1 H・Sさん

埼玉県川口市に行きました。バスに乗りました。昼食はチキンなんばんと、いちごミルクでした。おいしかったです。会場に着きました。選手宣誓をしました。箸ピーはまあまあでしたが、チャンピオン決定戦に出ました。とてもがんばったのに、うまくはしでつかめなくなりました。箸リンも出ました。78個できました。つみピーは3こしか乗っからなかったです。次は、団体戦でまごころをおうえんしました。まごころは1番早かったです。うれしかったです。私は優勝できなかったけど、選手宣誓のおかげで絵本がもらえました。うれしかったです。来年は1位をめざしたいです。選手宣誓が言えて、よかったです。来年もたのまれたら、大きく声を出したいです。来年は小さい子に負けません。私の次の目標は200ここえることです。

小5 M・Kさん

第10回川口箸技大会がありました。園の箸技大会では箸ピーも箸リンも決定戦に出ることができたので、今回も出れるかなと思っていたら箸リンで決定戦3位に選ばれました。しかし、とても緊張してしまってなかなかいい記録が出なくて3位の人と一個差で表彰されませんでした。園の大会が終わった後も毎日一生懸命練習していたので、とても悔しいです。団体戦では私もメンバー入りすることができました。予選でも決定戦でも見事1位で優勝することができたのでよかったです。来年は箸ピーも箸リンも両方表彰されるように練習も頑張ってやっていきたいです。

中2 H・Mさん

#### あおぞらホームだより

あおぞらホーム M・N

少しずつ暖かい日も多くなり春の訪れを感じる季節となりました。今年度も残り一カ月を切りました。

先月は川口市での箸技大会があったり、スキー行事があったりとイベントが多い月でした。川口市の国際箸技大会は愛育園の子どもたちが大活躍する場ですが、活躍の裏では日々熱心に練習している子どもたちの姿がありました。小学4年生のA君と6年生のY君は寝る前の時間を使って毎日練習をしており、前日の夜は就寝時間を過ぎても「もう少し」と納得するまで頑張っていました。そしてなんとY君は二つの競技で一位を取りました。コツコツと努力を重ねていく姿

(令和8年3月10日発行 月刊「円福」546号付録)

を見ていたので、その努力が実った瞬間を見ることができてとても嬉しかったです。他にも、今年初めて大会に参加する子もいたのですがその子も目標を立てて練習しており、私も少しの時間ですが一緒に練習ができたことは今思い出しても良かったなと思います。

いよいよ卒業式、卒園式が近づいてきました。長い時間園で過ごしてきた卒園生にお祝いと感謝の気持ちが伝わるように準備していきたいと思います。

#### まごころホームだより

まごころホーム N・R

少しずつ暖かい気候の日が増え、春の訪れを感じる季節になりました。

先月は、愛育園の行事として箸技大会とスキー行事がありました。箸技大会では、毎年恒例の埼玉県川口市で行われる

大会に参加しました。練習期間から子どもたちは一生懸命に毎日練習していました。一つでも記録を更新できるように熱心に取り組んでいた姿が印象的でした。スキー行事では、とても楽しそうに滑っている姿があり、子どもたちの楽しそうな姿を見ることができてよかったです。小さい子もソリや幼児用のスキー板などを活用し、普段できない経験ができたと思いました。

3月には、卒園式があります。一人一人が節目の年になるため、気を引き締めて生活できるようサポートしていき、4月に向けてもしっかりと準備を進められるようにしていきたいと思います。



Rさん誕生日メニュー ネギトロ丼と唐揚げ

